

修学旅行 仙台・松島方面

新型コロナウイルス感染防止のために2学期に延期していた修学旅行を9月17日(木)18日(金)に実施しました。心配された天候も、子ども達の日頃の行いがよいせいか2日間とも、雨に当たらず予定どおりの活動を行うことができました。修学旅行の事前指導で「修学旅行は、小学校で学んだことを生かして、自分たちが考え、判断し行動する学習の場」であることを話しました。そして、旅行先では、公共のルールを守り、時間を意識した行動が随所で見られました。さすが第一小学校の最上級生だと感心しました。

また、班別活動では、友達を思いやる姿が数多く見ることができ心が温くなりました。

今回の修学旅行をとおして、子ども達は、たくさんのことを学び、大きく成長することができました。そして、修学旅行で学んだことを、残り6ヶ月の小学校生活の中で生かして行ってほしいと思います。



出発式の様子

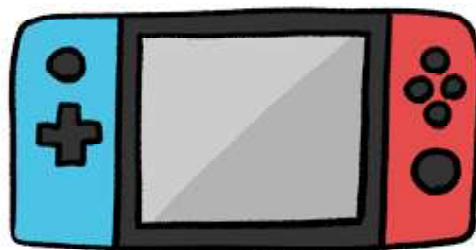


五大堂の見学の様子

通信型ゲームの使用について

9月7日から実施した個別懇談では、ご多用の中お越しいただきありがとうございました。子ども達の生活の様子等について、情報交換ができ貴重な時間となりました。

懇談の中で、話題に多く出されたのが「通信型ゲーム」についてです。「使用時間が長すぎる、就寝時間になっても止めない、ゲーム中の友達とのトラブル」など、各家庭では多くの問題を抱えていることが分かりました。そして、その原因は、「通信型」であることです。自分だけでやっているゲームであれば、好きなタイミングで止めることが可能ですが、通信型ゲームでは、自分だけゲームから抜けることができません。そのため、就寝時間になっても止められなかったり、食事時間になっても続けてしまったりすることにつながっています。また、ゲームをチームで行う場合、ミスしたことについて友達から攻めらるといったトラブルもあるようです。



本来、ゲームは子ども達の健全な楽しみの一つとして与えているものだと思います。ところが、子ども達の生活の乱れにつながったり、友達とのトラブルの種になったりしては本末転倒です。その上、睡眠時間の不足によって授業に集中できなかったり、体調を崩してしまったりしている児童も見られ、学習面や健康面も不安にもつながっています。

家庭で以下のことについてもう一度話し合ってみてください。

- ① ゲームを使用する時間について (1日何時間まで)
- ② ゲームを使用する時間帯について (夜は何時まで・食事時間の使用はしない)
- ③ 友達を無理に誘わない

子ども達の、よりよい成長のためですのでご協力をよろしくお願いします。